



「大丈夫ですか？防災対策」

9月1日は関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では210日にあたり、台風シーズンを迎える時期でもあります。関東大震災のときも強風が吹いていたそうです。

昭和34年に伊勢湾台風で戦後最大の被害を被ったことが契機となり、昭和35年の閣議で、9月1日を「防災の日」と定められました。

災害はいつ起こるかかわからない

災害時に冷静に対処できるかどうかは、日頃の準備にかかっているといえます。有効な防災対策を知り、もしもの時に備えましょう。



地震が起きたら

①身の安全を守る

身の安全が最優先。急いで机やテーブルの下に身を隠しましょう。机やテーブルがない場合は、座布団や本などで頭を保護してください。



②脱出口を確保する

揺れが大きいと、ドアや窓が変形して開かなくなり、室内に閉じ込められることがあります。身の安全を確保したら、揺れの合間をみて、ドアや窓を少し開け脱出口の確保をしましょう。



③火の始末をする

目の前で火を使っていた場合や揺れが小さい場合は、すぐに火を消してください。火を使っていない場合でもガスの元栓は確実に閉めるとともに、停電復旧にともなう通電火災防止のため、電気のブレーカーも切っておきましょう。



知っていますか？

「震度とマグニチュードの違い」

マグニチュードとは、地震のエネルギーの大きさを表した値で、マグニチュードが1違うだけで31・6倍のエネルギー差があります。

震度とは、ある地点での地震の揺れの大きさを表した値で、0から7(0、1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7)の10段階で換算し気象庁が発表するものです。現在は、震度を用的計測をおこなっていますが、なんと1996年頃までは、人間の感覚で震度を発表していました。

火災・地震に備えた

避難経路の確保を！

共同住宅等において、ベランダの蹴破り戸(隔て板)や避難ハッチの上、避難はしごが下りてくる場所に物を置いていませんか？ベランダの避難経路を利用するのは、自分たちだけではありません。普段から、物や観葉植物等小さくことのないよう心掛けましょう。



問合せ先 丹羽広域事務組合消防本部 予防課 ☎95-5158

あなたのお手元に
災害時の緊急情報を
お知らせする！

防災・防犯メール配信サービス
あんしん・安全ねっと

携帯電話からの登録方法
携帯電話から下記メールアドレスへ空メールをお送りください。送信された携帯電話のメールアドレスあてに「本登録」の手順をご案内します。
oguchi@entry.mail-dpt.jp

※QRコードを使用できる機種をお持ちの方は右のQRコードをお使いください。迷惑防止のためのドメイン指定が必要な方は town.oguchi.lg.jp、アドレス指定が必要な方は bousai@town.oguchi.lg.jp を許可してください。